

公益社団法人愛知県医師会 第23回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年10月31日(木) 午後2時30分～午後5時5分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一

城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾 富二

松尾清一 樋口俊寛 伊藤富士子 瀬瀬雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田洋一

代議員会副議長／藤原誠治 大野和美

欠席者 丹羽 巽

議事録作成者 横地宏和

※吉田理事、瀬瀬理事遅刻の為、承認事項1～協議事項11については、22名にて審議した。

※柵木会長離席のため、報告事項7は山本副会長が議事を行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。大野副議長より、日医常任理事就任にあたり挨拶された。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①特定非営利活動法人 愛知視覚障害者援護促進協議会(理事長 高柳泰世)主催の平成25年度視覚障害者援護講習会〔11/23(土)・30(土)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。

②愛知県医療ソーシャルワーカー協会(会長 黒木信之)主催の「第9回愛知県医療ソーシャルワーク学会」〔H26.3/8(土)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- ③一般社団法人愛知県精神科病院協会(会長 舟橋利彦)の行う第8回「こころフェア」〔H26. 3/8 (土)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- ④名古屋市中川区医師会(会長 坂野哲哉)主催のAED(BLS)講習会〔11/9(土)〕の共催について

市川理事より説明があり、共催及び修了証の発行が承認された。

- (2)一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会 in 名古屋(大会長 鶴飼泰光)の行う一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会 in 名古屋〔H26. 2/7 (金)・8 (土)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- (3)岐阜県危機管理統括監より岐阜県救急隊員教育シンポジウム(仮称)〔H26. 2/5(水)〕への講師派遣について

柵木会長、横井副会長より説明があり、救急医療情報センター野口統括センター長と救急救命士の処置範囲拡大について話し合いを行い、県医師会の基本的な考え方と齟齬が無いことが確認されたので、救急医療情報センター野口統括センター長の講師派遣が承認された。

柵木会長より、日医理事打合せ会にて救急救命士の活動範囲に関しての話題を提出する旨発言された。

2. docomoの衛星携帯導入について

稲坂理事より説明があり、第16回定例理事会において、docomoのIsat Phone PR0の5台導入が承認されたが、そのうち1台は救急医療情報センターに設置する都合上、運用を考慮してワイドスターⅡをリース(6年)で購入することが承認された。

3. 平成25～26年度 藤田保健衛生大学医学部4、5学年臨床実習「地域医療」への協力について

市川理事より説明があり、名古屋市医師会分のポリクリ受け入れ医療機関43機関が承認された。

4. 特定健康診査・特定保健指導講習会〔12/3(火)〕開催について
(愛知県医師会主催：中日パレス クラウンホール)

城理事より説明があり、標記講習会の開催が承認された。

柵木会長より、同内容の講習会は参加者が集まらなかったのではと質問され、城理事より、今回は具体的な請求書類の書き方等の講習を行い、評判が良ければ他地区でも開催する予定であると発言された。

5. 環境衛生委員会予防接種広域化に関するプロジェクト〔11/11(月)〕開催について
(801 会議室)

伊藤副会長より説明があり、標記プロジェクトの開催が承認された。

6. 警察部会幹事会役員の変更並びに開催の日程変更について

(愛知県医師会警察部会主催：7階研修室)

細川理事より説明があり、警察部会顧問の愛知県中央児童・障害者相談センター大野香代子先生から前田清先生への変更及び標記幹事会開催日を11月30日(土)から12月18日(水)へ変更することが承認された。

7. 各種委員会・部会について

A) 第7回 愛医総研委員会〔11/18(月)〕開催について

(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

—協議事項—

8. 「国民医療を守るための総決起大会」への出席について

柵木会長より、標記大会は、12月6日(金)に日比谷公会堂にて開催され、柵木会長、市川理事が出席するが、役員の方で出席できる先生は参加して頂くよう依頼された。また、「愛知県国民医療推進協議会」地域集会・役員会を、12月9日(月)に開催することが承認され、決議を加藤理事が作成することも併せて承認された。

9. 会費の減免申請について

可世木理事より説明があり、岡崎市医師会からの会費減免申請が承認された。

10. 11月の県下医師会長等協議会への地区医師会からの質問事項について

市川理事より説明があり、春日井市医師会からの「県医師会防災服の共同購入」について、11月の県下医師会長等協議会の質問事項として細川理事より説明することが承認された。

細川理事より、次年度も受付を随時行うと発言され、城理事より防災服の金額を示すよう要望があり、細川理事より、大まかな金額を示すと回答された。

11. その他

・年末年始の日程について

市川理事より説明があり、年末年始の予定について、県下医師会長等協議会は12月は休会、1月に秋の叙勲受章会員の慶祝表彰と併せて開催、また、定例理事会は、年末は12月26日(木)までとし、年始は1月9日(木)より開催し、終了後に言寿会を開催、事務局は12月27日(金)を仕事納め、1月6日(月)より通常業務とすることが承認された。

—報告事項—

1. 愛知県医療審議会〔10/28(月)〕について

(愛知県主催：愛知県白壁庁舎)

山本副会長より、「愛知県医療圏保健医療計画の策定」について、計画の見直し内容、スケジュールについて協議され、報告事項では、各部会の審議状況について各部会長より説明があり、その中で、GP ネットの利用促進について、常滑市民病院の病床削減と建て替えについて、愛知県の精神科病床数についての質問があった。また、地域医療再生計画の概要について報告があり、医師確保対策、在宅医療、災害医療の事業を行うこととなり、女性が検診を受診しやすい環境になるよう検討する、災害拠点病院として災害時に残るところは地盤の関係で限られているので、搬送訓練をして病院が孤立しないよう検討すると説明があったと報告された。

柵木会長より、来年3月が最後の審議会となり、今回は計画がほぼ承認され、今後3年間は本計画を基に進めていくことになることと説明され、また、現在、審議会と部会の在り方を愛医総研で検討していると発言された。

伊藤(健)理事より、各医療圏の調整をどこで検討するか質問があり、柵木会長より、県医師会が開催している医療圏医療協議会を随時開催し、検討をして欲しいと回答された。

樋口理事より、東三河北部医療圏と東三河南部医療圏にて協議会を行っており、圏域の見直し等の議論をしているが意見が纏まらなると発言され、柵木会長より、東三河北部医療圏と東三河南部医療圏での協議内容について状況を確認し、医療圏医療協議会、理事会で協議するべきであると発言があり、伊藤(健)理事より、圏域の見直しに当たりメリット、デメリットを提出して頂くよう樋口理事へ依頼された。

2. 第61回愛知県学校保健研究大会〔10/23(水)〕について

(愛知県教育委員会・愛知県学校保健会主催：中電ホール)

伊藤副会長より、元監事の豊橋市医師会長屋先生が表彰を受賞され、その後講演が行われたと報告された。

3. 第50回献血運動推進全国大会実行委員会設立総会及び第1回実行委員会〔10/25(金)〕について

(愛知県主催：愛知県議会ラウンジ)

伊藤副会長より、来年度に第50回献血運動推進全国大会が名古屋市で開催され、柵木会長が大会副会長、大村県知事が大会会長を務める。開会挨拶、血液事業用車輛の贈呈を柵木会長が行うことになり、血液事業用車輛は県医師会、県歯科医師会等の負担で購入される。開催日は来年の7月10日(木)又は7月17日(木)に愛知芸術文化センターで開催されると報告された。

4. 平成25年度第1回愛知県救急業務高度化推進協議会〔10/10(木)〕について

(愛知県主催：三の丸庁舎)

稲坂理事より、本協議会の作業部会・正副会長会議では同一内容が繰り返し報告

されているが、本協議会の参加病院・消防関係者には初めて協議・報告される内容であった。愛知県防災局が懸念している事柄として「地域における指導者の養成」が急がれること、「処置範囲の拡大等に伴う『ヒヤリハット事例』における情報共有」であると報告された。

5. 平成 25 年度愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会第 2 回担当者会議〔10/15 (火)〕
について

(愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会主催：名古屋空港)

稲坂理事より、11 月 7 日 (木) に実施される「平成 25 年度県営名古屋空港消火救難総合訓練」について、最終打ち合わせを行った。地区医師会からの要望により、13 時集合のところを 13 時 45 分集合に変更されることになったと報告された。

6. 半田市保育園保健会総会講演会〔10/24 (木)〕について

(半田市医師会・半田市保育園保健会主催：アイプラザ半田)

稲坂理事より、半田市保育園保健会総会講演会にて、保育士会の求めに応じて「小児の皮膚病」について質疑応答を併せて 2 時間講演した。内容は「とびひ」を中心とした「皮膚の学校感染症」についての登園の可否と「スキンケア」、「アトピー性皮膚炎」等を愛知県医師会で監修した「学校医手帳」を紹介して行った。出席者は保育園園医 5 名、保育園保護者 90 名、保育園保育士 25 名の合計 120 人であったと報告された。

7. 日本医師会 Mass Gathering Medicine に関する研修会〔10/26 (土)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

稲坂理事より、被災者健康支援連絡協議会関係者、行政関係者及び都道府県医師会災害医療担当理事・国際保健担当理事等総勢 144 名が日本医師会に集結した。冒頭、横倉会長、石井常任理事の挨拶に続き、ポール・グリーンフハーバード大学教授より「ボストンマラソン爆弾テロ事件への対応」の講演、川崎陸将補、坂本帝京大教授、永田九州大学大学院助教・日野原消防庁救急専門官より多数傷病者対策に関する講演があったと報告された。

8. 第 3 回周産期医療情報システム運用検討会〔10/18 (金)〕について

(愛知県主催：名古屋第一赤十字病院)

可世木理事より、周産期医療情報システムの一斉受入依頼メール配信先の地域分けについて、依頼元の地域によって配信先を 3 つに区分することが検討されたと報告された。

柵木会長より、本検討会は周産期医療協議会の部会であるか、また、委員の人数について質問があり、可世木理事より、周産期医療協議会の部会であり、人数は 9 名であると回答された。

9. 予算の執行状況について

可世木理事より、平成25年9月30日現在の予算執行状況を説明。現在の執行率は約30%であり、今後の事業執行の参考として頂くよう報告があった。

10. 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈対象者について

市川理事より、受賞者は藤田保健衛生大学の加藤庸子先生に決定し、表彰式は10月27日(日)に茨城県立県民文化センターで行われると報告された。

11. 愛難連第41回定期大会〔10/20(日)〕について

(愛知県難病団体連合会主催：東別院会館3階「東別院ホール」)

大輪理事より、柵木会長の代理として出席し、挨拶を代読。当事者の体験発表の後、「総合支援法と難病患者への支援」というテーマで、NPO法人医療的ケアネットワーク理事篠原文浩氏の講演があった。最後に、原因不明の病気により気管切開をされた声楽家青野浩美氏のコンサートが行われた。難病患者・家族を始め、120名程の参加があったと報告された。

12. 愛知県医師会会員相談窓口第3回事例検討会〔10/28(月)〕について

(801会議室)

大輪理事より、新規案件61件(うち診療報酬に関する相談34件)について協議したと報告された。また、事例のサマリーを配付資料としたので参考にして頂くよう説明された。

13. 平成25年度第1回愛知県介護サービス第三者評価推進会議〔10/23(水)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

樋口理事より、本会議は介護保険法で設置が定められており、委員長は国立長寿医療研究センター遠藤先生、副委員長を樋口理事が務められている。会議では、介護サービス情報公表制度における県が定める任意報告情報に関するアンケートについて話し合ったと報告された。

14. 愛知県予防接種広域化ワーキング会議〔10/21(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

瀬瀬理事より、連絡票、法定外接種、各種様式の確認、集団接種の委託単価未定市町村との調整について、予防接種広域化への参加周知についてなど、前向きな検討が行われたと報告された。

柵木会長より、来年4月からの事業開始について質問され、瀬瀬理事より、各市町村が予算化し、議会の手承が得られれば開始できる予定であると回答された。

15. 各種委員会・部会について

A) 医療安全対策委員会〔10/15(火)〕について

(803・804 会議室)

細川理事より、平成 25 年 10 月分委員会提出案件 18 件(新規 15 件、解決 3 件)、平成 25 年度医療安全対策委員会勉強会、医療安全対策委員会における資料及び情報の取り扱い等について検討したと報告された。

B) 救急委員会小委員会〔10/18(金)〕について

(802 会議室)

稲坂理事より、平成 26 年 3 月 8 日(土)に開催予定の第 32 回救急・災害医療シンポジウムのテーマ、講師等について議論を行った。また、11 月 20 日(水)実施の「南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)」についても意見交換を行ったと報告された。

C) 第 6 回愛医総研委員会〔10/21(月)〕について

(501 会議室)

伊藤(健)理事より、「在宅療養に関わる追跡調査」の経過報告に加え、在宅療養の阻害因子を明らかにするため今後は在宅療養の中断・継続を目的変数とした単変量解析や生存分析を実施予定である旨を説明した。また、継続審議事項である「愛知県医療計画に係る組織体制の見直し」では、医療審議会に係る各部会、協議会などの組織改編の方向性、それぞれの位置付けと関連性を中心に議論したと報告された。

D) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔10/22(火)〕について

(801・802 会議室)

大輪理事より、平成 25 年 9 月分の事例報告・検討を行い、新規事例 92 件(腎機能低下の説明不足、風疹の抗体検査、障害年金診断書の記載、怪我の処置方法、子宮がん術後の泌尿器科受診について報告。術前説明の重要性、紹介状の作成、手術部位の間違いの事例等)について、平成 25 年度愛知県医師会医療安全支援センター第 2 回講演会の協議を行ったと報告された。

E) ホームページ・IT 化対策委員会〔10/23(水)〕について

(804 会議室)

吉田理事より、災害時安否確認システムについて、現状の確認と今後について協議した。会議システム改善については、過去の経緯を説明した上、技術的側面から協議を行った。日本医師会医療情報システム協議会については、開催日等を案内し、別途メーリングリストで参加者を調整することにしたと報告された。

柵木会長より、災害時安否確認システムの登録数と今後の方針について質問され、吉田理事より約 1,000 人登録されているが、4,000 人の登録を目指し、今後は、テスト結果の報告と再度入会の案内を考えていると回答された。

柵木会長より、災害時安否確認システムを含めた医師会の取り組みを会員へ周知する良い方法等あれば提案して頂きたいと各役員へ依頼された。

16. その他

- ・理事会システムについて

山本副会長より、新システム「スマートセッション」の試用版を使用し説明を行い、本システムを次回より採用することが承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年10月31日